

「人間の格」を読んで

河野 あつみ

私は、「人間の格」を読み今まで考えもし
なかつた人間であることや人間である意味を
考えるようになった。初めてこの本を読んだ
のは、2、3年位前、人間関係や自分の性格
に悩み毎日が嫌になつていた時に、先生に紹
介頂いたのがきっかけでした。私は本を読む
事がすごく苦手でその苦手からずつと逃げて

きました。活字を読んだり自分の興味のない
文章を読むのは苦痛で読むのも進まないし、
読んでいても読んでいるだけでそこから何か
を思つたり、考えたりも出来ませんでした。
しかし、その時の状況が嫌すぎて、そして先
生のお言葉に心が動き読むきっかけになりま
した。1年以上読むのにかかつたと思ひます
その時に思つたことと今回読んで思つたこと
は同じこともあれば、全く違うように考えた
りするから読んでいて面白いと感じました。

「人間の格」とは人間が本物の人間になる為
に必要で、なくてはならない事を教えてくだ
さっています。当ソ前に人間として生きてき
ましたが、私はまだまだ本物の人間ではない
と思いましたが。全ては考え方、心の持ち方で
その状況が一変します。誰しも同じ時間を与
えられてゐる唯一の共通点で、その時間をど
のようにして行動し考えるかによつてその人
の人生が決まります。私が一番反省した点は
私はより以上を目指さないといふことに気が
付きました。目標を立てずに日々を過して
るように思います。逃げてゐる証拠だと実感
しました。失敗や苦難が嫌だからそのように
生きてきてしまつたと反省しました。それで
は、本物の人間になれません。自分の個性、
格を磨く為、心を鍛えなければなりません。
その為は何事からも逃げてはいけません。一日
一日進化しなくてはならないと痛感しました
30歳になり、結婚や出産を視野に入れるよう
になりより強く思いました。自分で自分を育

てていき、万が一出産し子供が生まれた時に
間違った導き方をしない為にも遅いかもしれ
ませんが、今より人間になつた自分でいたい
と思ひます。そして他の人のことをもつと愛
を持つて接していきと思ひます。愛する
ということは相手を知りたいという所から出
てきます。そうすれば対立的感情がなく、イ
ライラしたり怒つたりすることはなくなりま
す。一人では生きていけません。絶対にどこ
に行つても自分以外の人がいります。その人が
いる事に感謝し愛することでお互いを支え合
い、良い人間関係を作ることで自信を高めて
いきたいと思ひます。ありがたひ事に私の職
は様々なお客様と接する仕事です。たく
さんの人から学ぶチャンスはたくさんありま
す。自分の心を成長させる為日々のお客様
スタッフとの関わり方、接し方を見直して参
ります。本物の人間になれるよう日々努カシ
ていきます。